

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成23年2月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は2から4に増加。「減少した」業種は6から2に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は5から6に増加。「減少した」業種は21から17に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は2のまま変化なし。「悪化した」業種は16から11に減少。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は3から2に減少。「減少した」業種は12から9に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は5から8に増加。「減少した」業種は20から15に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は1から4に増加。「悪化した」業種は36から21に減少。

製造業

豆腐製造

【県下全域】

例年1〜2月は売上が多少伸びていたが、この冬場は思ったより伸び悩んだ。

めん類製造

【県下全域】

農水省が輸入小麦売り渡し価格の大幅な引き上げ（18% up）を発表。原料小麦粉の値上は数ヵ月後の予定であったが、現在、値下げ競争が続いている。めん製品に転嫁しなればならないという困難な問題が始まる。

シャツ製造

【千葉県・東京都】

中国の旧正月の関係で輸入はストップしているので量は減少。

製材

【県下全域】

徐々に仕事量が回復してきている。業界の動きとして、全般的に木材の供給減少による、品薄感があり、価格も寝減り気味。

製材

【木更津】

2月は毎月原木船が1〜2隻入港するが、ロシア船（1隻）南洋船（2隻）と3隻の入港となった。

印刷

【県下全域】

2月の売上高は日数の影響も少なく1月より若干増加。官公需は、税収不足による更なる予算縮減や経費削減がある中、年度末納期の

発注が盛んに動いている。

生コン製造

【県下全域】

2月度は、前年を若干下回った。年度末は（推定）前年比95%程度となるが、23年については、経済の上向き傾向の事業が出てきており、具体的に案件も出てくるなど、需要の増加が見込まれる。

電気鍍金

【千葉】

前年度比では、14%程度増加しているが、前月比では不変である。この先の見通しは悪化するであろうと不安である。

鉄工業

【千葉】

業況低位ながら安定推移中。しかし、資源高からものづくり産業にとってコストアップ要因が鮮明になつてきており、ムードは悪い。

機械部品製造

【野田】

景況の変化として、全般に荷動きがでて明るい状況になってきた。

機械部品製造

【流山】

余り変化はなく、横這い状態であり、今後も原油価格の上昇により、原材料の値上がりが予測され、いい傾向ではない。

採石

【県下全域】

京浜3港（東京港・横浜港・川崎港）のハブ化を目指す港の一つである横浜港南本牧コンテナ埠頭増

造成工事や築地市場の移転に伴う
用土の供給に期待をかけている。

【土砂採掘】

【県下全域】

公共事業投資が無く、骨材需要
が減少。各企業は事業運営に苦戦。
非製造業

非製造業

【総合卸売】

【千葉県・東京都】

▽事務用品：前年に比べ年度末
受注低下。(ここ数年の傾向)▽日
用雑貨：ティッシュ、マスク等花粉
対策用品の出だしが昨年に比べ若
干早くなっている。

【食肉卸売】

【千葉市他】

牛の枝肉価格が上昇。経営の悪
化により、廃業する酪農家がある。

【建築材料卸売】

【県下全域】

需要はやや持ち直しているが、補
正予算効果の一時的なもの。民需は
中断していたマンションの建築が再
開したのもあるが官需の息切れが
必至で再び落ち込むことは避けら
れないため収益価格は低迷したま
まである。

【リサイクル卸売】

【県内全域】

価格は上昇傾向にあるものの、発
生量が減少しているため、プラスに
働かない。

【建築材料卸売】

【県内全域】

需要はやや持ち直しているが補正

予算効果の一時的なものか。新年度
予算が不透明なため公共需要が息
切れすると思われる、民需も計画様
子見が続く、少ない発注物件に安
値で応札している。

【自動車解体業】

【県内全域】

月末にかけて解体車両の入荷は
やや上向き。金属相場もじりじり
上昇。それに伴い価格も上向き傾
向。相変わらず利益確保は難しい。

【小売】

【柏】

価格の安い、衣料品、裝飾品が
売れている。陽気が寒く、春物商品
の動きはよくない。

【電気機器小売】

【県下全域】

昨年の冷え込みに比べ、まだマシ
だと言う感じで飛び抜けて良いわ
けではない。何だかんだいっても、
エコ家電のポイントは未だ効いてい
る。エコポイントのなくなる4月以
降の対策こそが待たれる。

【青果小売】

【千葉市】

売上の割には利益が取れない傾
向が続いている。

【小売】

【大網白里町】

年末年始、2月初めと少し景気
に明るさが出てきたような感じが
し、やれやれと思っていたのにつか
の間、月の中頃から急激に悪化。

【中古車仕入・販売】

【県下全域】

相場、大勢は強含む(高騰化気
配の低年式・直販と高年式に不安
感)部分的な高騰と頭打ちがその
時々の局面で目立つという複雑な展
開状況。深刻なタマ不足はさらに続
くとの見方には妥当性があるもの
の、直販動向と手ごたえの裏づけな
どについては、まだ不安要因がから
みついていてる。

【小売】

【東金】

ファッション関係、春物の動きが
鈍くなっている。新入学用品も年々
購買時期が遅くなってきた。食
品関係は、価格の上昇がさけられず、
小分けの少量販売になってきてい
る。飲食は苦戦している。外食の類
度が減ってきている。

【小売】

【野田】

抽選会やポイント2倍デーなどの
催しを実施し、賑わいを創出したが
適正価格の商品が売れない。消費
者の低価格志向が強く感じられる。

【印鑑小売】

【県下全域】

市町村合併や企業の合併などの
今迄の「特需」も昨年と比べると量・
質共に低調となりそう。3月4月
の繁忙期を向かえ、ますます油断
できない状況が続く。

【建設揚重】

【県下全域】

料金の低下と燃料その他材料費

の高騰で収支が悪化している。

【害虫防除】

【県下全域】

受注の件数は減少。相変わらず
ネズミ・ハクビシンの電話相談は増
加傾向にある。

【遊覧船】

【鴨川】

比較的天候に恵まれたためか、前
年比並みに落ち着き、約1年振り
に前年割れを免れたが、全体的に
景気の悪化が響いている。

【一般廃棄物処理】

【千葉市】

2月は仕事量の少ない月となる
が、本年2月は前月と比べ落ち込むこ
となく良い状況であった。

【ソフトウエア】

【県下全域】

依然厳しい環境であるが、1~3
月は年度末でもあるので多少の好
転が見られる。業界の動きとして、
iPadの開発発を実施している。

【建設業】

【県下全域】

前月比で受注額は減少している。

【貨物運送】

【野田】

燃料の高騰による利益の圧迫が
深刻になりつつある。業界の動きと
して、4月1日から、アルコール
チェックが義務づけられるのは業界
にとっても良いことである。

【輸出入業】

【県下全域】

2月の売上は前月比、前年同月
比とも減少した。